

114
A 3986
1

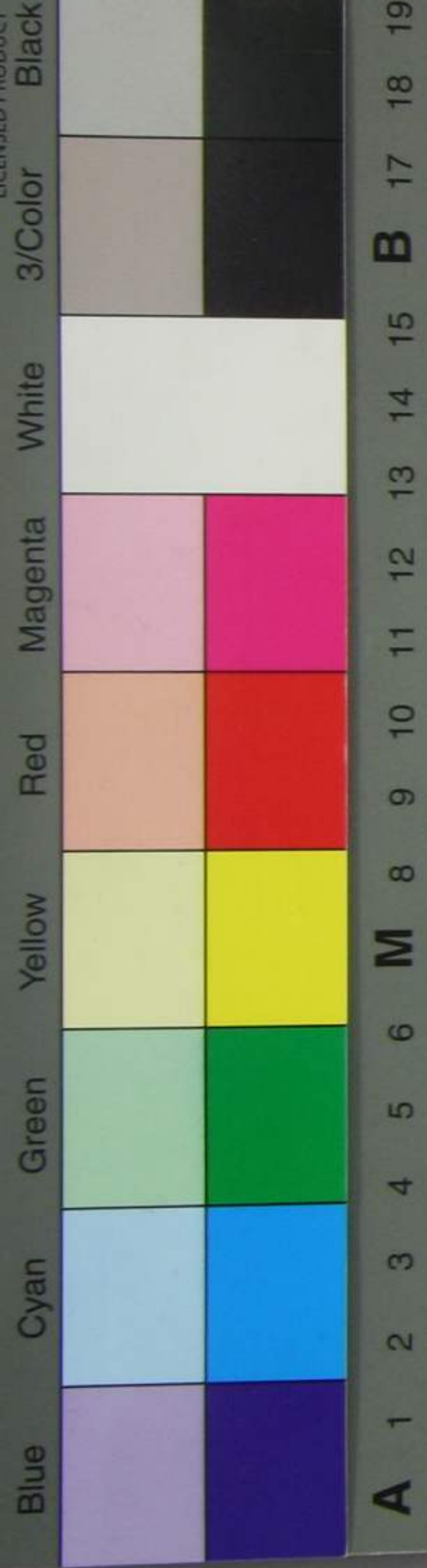


31

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈

甜紅蘿蔔糖製造ノ公益論中ノ拔萃談(第一号)

甜紅蘿蔔糖ヲ製造スル事ハ歐洲ニ於テ莫大ノ利益ナリ然リ而
シテ此レヲ製造スルニ付テハ方策ヲ設ケ大ニ之レカ保護ニ加
フルカ如キハ勿論一時ハ己ムヲ得ス公費ヲ用ヒタルヲ得サル
ナリ公費ヲ用ユルニ付テハ自他ノ方法ニ於ケルヨリモ一層多
分ノ費用ヲ要セサルヲ得サリ然レモ右ノ保護ニ於ケル
方策ノ手教ヲ要セル廣大ナル点ヨリ脱離シテ之レヲ思考スレ
ハ可レノ種ノ砂糖(甜三糖 甜二糖 甜一糖 甜三糖 甜二糖 甜一糖)
葡萄糖ヲ製造スルノ未タ世ニ知ラレサリシ時(過シ十五年)而
ニ当リテハ全世界何レノ國ニテモ今日ノ如ク其價直ノ廉ナリ
シ者ハ未ダ曾ラ之レアラサルナリ
昔時ニ於テハ砂糖ヲ製造スルノ土地ノ價直下直ニシテ賣奴



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



ノ風俗アル熱帯地方ニ限レル家業ナリ而シテ耕作人并ニ製造
造ニ於テモ施用スヘキ器械ニ乏シク浪費ヲ来リ且ツ製造
ニ付テ方法アルモ費用多クシテ迂ナルモノナリ
歐洲ニ於テハ甜紅蘿蔔糖ノ産出スルヲ以テ之レヲ化學及
器械學上ニ求メ其理論ヲ講究セシニ由リ莫大ノ改良ニ至レリ
此改良ヲ聞見スルニ於テハ熱帯地方ノ耕作人及ニ製造人等ハ
其昏夢ヲ驚破シ而シテ其從來ノ特權ヲ保存セント欲スル以上
ハ亦タ其迂法ヲ改良セサルヲ得サルハ万ニ己ムヲ得サルノ場
合ナリ

十五年来甘蔗糖製造法ノ頗アル改良セシハ蓋シ其原ヲ佛國
及ヒ日耳曼國ニ於ケル甜紅蘿蔔糖製造法ニ取ルナリ
糖及ヒアルコール製造ノ為ニ歐洲ニ於テ甜紅蘿蔔ヲ耕作ス
ニ由リテ其效驗ノ農業上ニ及ブ實ニ驚愕スルニ耐ナリ而シ

テ今其鄭重ナル利益タルヤ何レ 地ニ於テモ其新ニ所トナレ
リ

甘蔗糖ヲ産出スル諸國(按ニ熱帯地)ニ於テハ其砂糖製造亦近傍
ノ地ニ甘蔗ノ外別ニ何タル一ノ作物アルヲ見サルナリ且ツ
又タ牛馬羊豕ノ類モ多ク蕃殖スルヲ見サルナリ然レモ歐洲ノ
砂糖ヲ製造スル地方ニ於テハ之レニ反シテ其近傍ノ畦圃ニ於
テ種々ノ作物アリテ悉ク其地ヲ覆フヲ見ル即チ甜紅蘿蔔小
麦、裸麦、燕麦、大麦、玉黍、菜、亚麻、烟草、及ヒ目他諸種ノ耕作
類充滿スルナリ而シテ何レノ畦圃モ耕作ノ手行カ石キ其径路
ハノ間尺寸ノ閑地ヲ遺サレルナリ且ツ田家ノ小舎ニシテ生育
シキ牛馬羊豕充滿セリ
一俵ノ耕作上ニ付テ其最モ宜シキ方法ハ何ナルヤヲ指シ
ヲ要セサルナリ

甜紅蘿蔔糖ニ付テ有用ナル種々ノ書ヲ著シ猶又タ「ジョール」
ル、ル、「アブリカン」ウ、「ゲ」レ、「ユツケル」書ヲ著シ「ゲ」ユツケル
氏曰ク甜紅蘿蔔ヲ耕作スルト大ニ流行ニ至リト、
農業會社ノ議長カ甜紅蘿蔔ノトニ付テ説話スルニ當リテハ衆
人ノ悦ブ所トナルハ必然ナリ何レハ農業新聞タリ、甜紅蘿蔔ノ
事件ヲ論スレハ其讀者ヲレテ樂シマシメサルモノハ、レ之レ
「キナリ」而シテ其新聞紙ヲ讀ムニ當リテ何レハ農夫ノ「モ」
レラ砂糖或ハ「アル」ルニ變化スルノ見込ヲ以テ其畦畝ニ之
レヲ播殖セント欲スルナリ而シテ各人皆談甜紅蘿蔔耕作ヲ頌
歌セリ碩フニ此甜紅蘿蔔糖製造ノ事ニ付テハ曾テ擁護ヲ為シ
テ此耕作ヲ勸言セシ我曹（野ニ）ナレハ固ヨリ第一ニ之レヲ頌マ
サル可カラサルナリ、
佛國記者カ甜紅蘿蔔糖製造ノ農業ニ於ケル切要ナル「」ヲ証明

レ上ニテ其廣大ナル「」ヲ勸奨セリ曰ク英國ハ其土質瘠瘠氣
候雨濕太陽晦暝ニシテ猶且ツ其穀物ヲ収納スルハ我國ニ於テ
ルヨリモ二倍ノ高ヲ得ヘク又々其畦畝ノ生産高ハ豊饒ナル「」
ンバリーノ地ニモ増勝ナルハキハ誰カ得テ之レヲ信シスヘキヤ
其レ斯ノ如ク許多ナリ此許多ノ産出ニ由リテ之レヲ見レ、其
農業ノ盛ナル「」驚ニ耐タリ此故ニ甜紅蘿蔔糖ヲ製スルノ改良
スルニ由リ（北方）耕作者ハ其寒温ノ土地（ト）ヲ懶怠（レ）シテ西印度
ノ土人カ甘鮮ノ芳香氣中ニ沐シ濕々タル太陽光線ニ「」
ンテレスノ豊饒ナル土質（ト）ヲ却テ多量（ト）ニ糖ヲ産出シ
得ルト所以ヲ説明スルニ足ルナリ
英國ニ於ケル該農業ノ基礎ハ「」ナリ佛國ニ於テ其最モ佳ク
耕作スル地方ニテハ甜紅蘿蔔ナリ、農業ニ於テ名譽ノ記者ハ
「」曰ク、余「」作物ヲ觀察スルニ貿易製造物ハ盛ナル地殊更甜

紅蘿蔔ヲ耕作スル地ノ外ハ其善ナルノアルヲ見サルナリ
其記者アリ曰ク佛國ニ於テ盛シニ擴充スル故多ク製造
其第一等ノ地位ヲ占ムタルモハ砂糖又ニテモ猶ホ當為スヘキ
スルコトナリ蓋シ右製造ニ付テハ又中ニ於テモ猶ホ當為スヘキ
種々ノ小仕事アルヲ以テ夏中畦取ニ從事セシ備工モ冬中仕事
スルコトナクシテ年給ノ額數ヲ増スベキハナリ
又其記者アリ曰ク總テ耕作者及ヒ經濟家ハ該甜紅蘿蔔ヲ耕
作スルコトヲ引薦スル者許多ナリ此甜紅蘿蔔ヲ耕作スルハ自カ
ラ畦畝ヲ耕鋤スルコト深ク之レヲ培養スルコト貫徹シ産出額ヲ増
盛スルノ本源トナレリ何人ニテモ甜紅蘿蔔ヲ耕作シテ土質ヲ
衰耗スルニ至ルト云フ説ヲ信スルモノナシ又タ自他ノ作物ヲ
損害スト云フ説ヲ信スルモノナシ其土質ヲ衰耗スルノ説
フル者ハ既往ノ偏見ニシテ論理上ニ於テモ實際ニ於テモ共ニ

之レヲ排斥スル所ナリ而シテ之レニ代フルニ甜紅蘿蔔ヲ耕作
スルニ由リテ生シタル無上ノ利益ヲ公布スベキナリ
チコレト氏曰ク甜紅蘿蔔糖ヲ製スルコトハ昔時ハ一地方ニ限リ
他ニ及バザリシナリ然レモ今日ニ在リテハ最早其不都合ヲ脱
シタリ蓋シ其業タル佛國ノ北部ニ傳播スルノコトナラス猶又々
其東部西部及ヒ其南部ニモ傳播セリ且ツ日耳曼國露國以テ利
國澳國イハルニ國及ヒ自他ノ國ニモ傳播セリ
其人アリ曰ク佛國ニ於テ甜紅蘿蔔ヲ耕作スルノ地ハ
ニテモ土地ノ價直騰貴シ隨テ倍工ノ給賃騰貴セ
砂糖製造ノ業ニ付テ縱ニ佛國獨リ其利ヲ專ラニスルモ
レハ政州ヲ奉ケテ悉ク夥多ノ砂糖ヲ製造スルノ國トナレリ而
シテ甘蔗(送來)諸人皆砂糖ヲ製スルニ適スルモノ獨リ之レ
ト信セシ植物ヲ耕作スルノ國ニ一歩ヲ讓ラサルナリ蓋シ

大歳

糖ハ当今人民ハ大ニ消費スル所ノ食料トナレリ而シテ造作
 之レヲ甜紅蘿蔔中ニ秘蘊セシモ是レヲ搜求シテ露ハ、
 ナルノ理ナリナリ又タ地モ該新作物ノ為ニ要シタル耕耘ニ
 由リテ其豊饒ナル尋常ノ三倍ニ至レハ人類獸畜ノ食料随テ増
 益セサルノ理之レナキナリ、
 レッロ、アグリソン曰ク「農業博覧會ニ於テ第一等ノ賞ヲ得シ
 所ノ農ハ皆是レ砂糖製造且ツアルコト」蒸餾者ナリ即チ甜紅
 蘿蔔ノ耕作者ナリ若シ彼等右博覧會ニ於テ第一等ノ賞譽ヲ得
 ス又タ政府ノ官報ヲ以テ之レヲ旌揚スルトナカリセバ其樹果
 ヲ引ク如何ソヤ

(以下第二号)

甜紅蘿蔔糖製造ノ公益論中抜萃譯(第二號)

「ワルローン」氏ハ「エズ」佛國ノニ於テ第一等ノ賞譽ヲ得シ人ニ
 地名シテ一千八百五十三年ニ於テ八百三十二「エークル」我
 四ノクハハ
 餘ノ地ヲ購求シ而シテ之レヨリ産出セシ物ヲ賣却セシ金高ハ
 八千弗ニ上レリ、
 「セー子」佛國地方ニ於テ第一等ノ賞譽ヲ得シ「ダルク」佛
 國ニ於テ
 カニ五十「エークル」ノミヲ耕作セシカニ其地ノ生産増風シテ一
 「エークル」ヨリ拾五万四千磅即チ六十八噸百六十八磅ノ甜紅蘿
 蔔ヲ收穫セリ而シテ猶ホ其「エークル」ヨリ小麦ハ四十三俵凡
 我
 斗ハ
 八外計)半及一燕麥ハ五十九俵半ヲ収納セリ、
 「ハッ」カ
 レ氏ニ百九十五「エークル」ヨリ小麦ハ五千二
 百二十二俵ト甜紅蘿蔔ノ二千五百噸ヲ収納シ而シテ且ノ家畜
 百五十噸ヲ育セリ

甜紅蘿蔔ヲ耕作スルハ鋤深入レ肥料貫徹シ燕草自然ニ去
カレナシ而シテ甜紅蘿蔔ヨリ砂糖ヲ製造スル為ニ其液汁ヲ取
リシ後ノ其渣滓ハ家畜ノ為ニ最上ノ飼料ナリ而シテ此家畜
ノ増殖スルハ殊ニ砂糖ヲ製造スル地方ニ極テ甜紅蘿蔔
製造方傳播以來八倍乃至十倍ニ至レリ、
家畜ハ非常ニ多量ノ肥料ヲ給与スレバ之レヲ以テ深ク鋤犁シ
能ク燕草ヲ除キシ甜紅蘿蔔地ニ施用スルニ由リ諸種ノ作物ノ
為ニ其地ノ生産ヲ増殖スルナリ、
一千八百五十三年ニ於テ佛帝ニ皇后「ワレンシ子」地方ニ臨
御ノ時牌坊ヲ建テ、下條ノ頌文ヲ掲載セリ、

砂糖製造

第一世「ナポレオン」此業ヲ創成セリ
未タ甜紅蘿蔔糖ヲ製造セザル以前ハ「ワレンシ子」地ニ於

テ小麦六拾九万五千七百五拾俵ヲ産出シ而シテ牡牛七百頭
ヲ育セリ、

第三世「ナポレオン」此業ヲ保護セリ

甜紅蘿蔔糖ヲ製造法傳播セシ以來ハ「ワレンシ子」地ニ於
テ小麦百拾五万七千七百五拾俵ヲ生産シ而シテ牡牛百
五百頭ヲ育セリ、

「フヒ」ト兄弟「マス」ニ「佛國」ニ於テ土質最上ナリト考ヘテレ
シ地ナリノ地ニ於テ「羅形」畦畝五百五十二「エ」ク「ル」有レテ
砂糖ヲ製造セリ且ツ年々家畜八百頭ト羊三千頭ヲ育セリ余レ
昨冬該地ニ至リ一日其製造所及ニ其畦畝ヲ歴觀シ、彼等其
業隆盛ナルヲ以テ其原ヲ甜紅蘿蔔ノ絞リ滓ノ夥多ナルニ歸
キリ但シ此絞リ滓ハ土質ヲ改良スルニ最モ宜シキ肥料ニシ
ナリ然リ而シテ甜紅蘿蔔ヲ培養スルニ付テハ休地スルヲ要

セザレバ秋獲ニ間歇ナキヲ以テ是レ又夕隆威ノ原トナレ
彼等十ニケ年間該地ヲ耕作セリ而シテ其作物ハ甜紅蘿蔔小麦
燕麦裸麦及ヒ乾草等ナリ余レ一千八百六十四年以前ニ於ケル
十一ケ年間ノ結果ノ一ヲ掲クベシ其燕麦ヲ播殖スル土地ハ
均シテ三十「エー」クルナリ一千八百五十三年ニ於テハ右燕麦
ヲ産スル「エー」四十五俵半ナリ一千八百六十二年ニ於テハ木抵九
十二俵四分三ナリ而シテ一千八百五十三年ヨリ同シク六十二
年間ノ平均算ハ每一「エー」クルニ付キ七十俵ノ内ニ在リシナリ
藁ノ収納高モ右同様ノ割合ヲ以テ増益セリ而シテ之レヲ平均
スレバ「エー」クルニ付キ十二「顧」ナリ然レモ一千八百六十三年ニ
於テハ殆ンド三「顧」ニ上レリ
裸麦ノ収納高ハ其割合猶ハ一層増益セリ即チ每一「エー」クルニ
付キ十七俵ヨリ三十四俵半ニ至レリ但シ藁共ニ合計シテ平均

スレバ殆ンド三十俵ニ上レリ
小麦百五十六「エー」クルニ於ケル平均高ハ每一「エー」クルニ付キ
三「六」俵半ヲ超過セリ
該地ノ諸部落ハ每一「エー」クルニ付キ六十七俵（抄ニ）ハ分ノ五（小麦）
生スル「エー」往々ニシテ之レヲリ而シテ何レノ部落ニテモ二十俵
半ヨリ少ナキ「エー」ハ曾テ之レナク乾草ノ収納高モ三「顧」ニ
リ而シテ甜紅蘿蔔ヲ生スル「エー」ハ每一「エー」クルニ付キ二十「顧」ニ
至レリ
一千八百六十五年ニ於テハ「エー」クルニ付キ甜紅蘿蔔ヲ生ス
ル「エー」二十「顧」三十五「顧」及ヒ四十「顧」ニ至レリ
右等ノ如キ諸種ノ作物ノ耕作スルノ費用ハ就テ「フ」ロー「ブ」氏
ノ言ニ甜紅蘿蔔ヲ耕作スル為ニハ應充分ニ土地ヲ耕鋤スルハ
自餘之レニ紹テ諸種ノ作物ヲ播殖スルニ際シ其耕鋤ノ手數

省キ費用ヲ減スルノ莫大ノ利益ナリト云ヘリ、

註左ノ附載スル表ハ一千八百六十五年英國二十三州ニ於
 毎一エーケル付キ諸作物ノ平均産出高ヲ相互ニ併
 置シテ標出スルモノナリ

表

| |
|----------|
| 小麦 |
| 裸麦 |
| 大麦 |
| 燕麦 |
| 黍類 |
| 蕎麦 |
| 馬鈴薯 |
| 烟草 (十六州) |
| 乾草 |
| 葎草 (十八州) |

右

製造ノ滄塚壓搾ヨリ得レ所ノ純石灰并炭酸石灰ナリヲ施用ス
 ル為ニ暗渠ヲ通スルト又タ他ノ肥料ヲ自由ニ施用スルト
 深鋤犁スルト善ク蕪草ヲ除去スルト培養ヲ尽クスルト
 ニ届スルナリ且ツ甜紅蘿蔔ヲ耕種スルニ際レ既ニ土質ヲシテ
 豊沃ナラ使メラテ以テ自餘穀類ノ作物ニハ肥料ヲ要セス只
 一回軽易ニ鋤犁スルヲ以テ足レリトス但レ畦疇ニ播種スルニ
 ハ機関ヲ以テ後事スルナリ、

該砂糖ノ製造ノ未タ佛國ニ傳播セザル以前ハ此國ニ於テ傭役
 仕事ノ閑ナルヲ以テ鄙村ヨリ市井ニ職人ノ移住スルニ陸續
 トレテ漸ヘガリレナリ是レニ由リテ政府其所以ヲ按察シ猶又
 タ此移住ヲ防宗スルノ奇策ヲ設立スルニ至レリ然レモ今ヤ該
 砂糖産出ノ地方(即チ佛國)ニ於テ石如ク懸念ノ移住ヲ企テ
 ルトハ得テ見ル無キニ至レリ且ツ此地ニ於テハ該製造ノ為

省キ費用ヲ減スルノ莫大ノ利益ナリト云ヘリ、

註左ノ附載スル表ハ一千八百六十五年米國二十三州ニ於
 毎一エーケル付キ諸作物ノ平均産出高ヲ相互ニ併
 置シテ標出スルモノナリ

表

| 作物 | 最多キ平均算 | 最少キ平均算 |
|--------------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 小麦 13 $\frac{1}{2}$ 俵 | ミソソタ 20 $\frac{3}{5}$ | ケンタッキー 7 $\frac{1}{4}$ |
| 裸麦 15 俵 | カンサス 23 | デラウェア 7 |
| 大麦 23 $\frac{3}{4}$ 俵 | ウェルモント 28 $\frac{3}{4}$ | マス 19 $\frac{1}{2}$ |
| 燕麦 51 $\frac{3}{4}$ 俵 | ミソソタ 41 $\frac{1}{2}$ | デラウェア 12 |
| 黍類 31 $\frac{3}{4}$ 俵 | 子ガラスカ 46 $\frac{1}{2}$ | 全上 16 $\frac{1}{2}$ |
| 蕎麦 19 $\frac{1}{4}$ 俵 | 全上 26 $\frac{2}{3}$ | 全上 10 $\frac{1}{2}$ |
| 馬鈴薯 113 俵 | ミソソタ 197 | ケンタッキー 59 $\frac{1}{2}$ |
| 烟草 (+六州=テ) 906 磅 | ユン 1,350 | カンサス 533 |
| 乾草 1 $\frac{1}{2}$ 噸 | 子ガラスカ 2 | マイ 1 |
| 苧蓆 (+八州=テ) 110 $\frac{3}{4}$ 噸 | カンサス 129 | ニューヨーク 75 |

糖 八 度 = 肥 =

ルノ得テ見ル無キニ至レリ且ツ此地ニ於テハ該製造ノ為

大 裁 省

| | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 第1 | 第2 | 第3 | 第4 | 第5 | 第6 | 第7 | 第8 | 第9 | 第10 |
| ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |

マズニ「地」名ニ於ケル畦畝ノ産出高ハ右二十三州ノ地ニ於ケルヨリモ超過セリ、其超過スル所以ノ理ハ土地ノ肥瘠ニモ氣候ノ寒暖ニモ依ラズ獨リ培養術ノ巧拙ナルニ歸スルナリ、

右ノ如キ故ニ藁ノ産出高ヲ減去セシ後ニテ每一表ニ付キ燕麦ハ其價直三拾錢以下トナリ小麦ハ六拾錢以下トナリ裸麥ハ八拾錢以下トナレリ、蓋レ彼等ノ減價スル所以ヲ以テ甜紅蘿蔔耕作ニ於テ石灰(砂糖)

製造ノ瀝液(壓搾)ヨリ得レ所ノ純石灰并炭酸石灰ナリヲ施用スル為ニ暗渠ヲ通スルト又タ他ノ肥料ヲ自由ニ施用スルトト深鋤犁ハレト善ク蕪草ヲ除去スルト培養ヲ尽クスルトニ届スルナリ、且ツ甜紅蘿蔔ヲ耕種スルニ際シ既ニ土質ヲシテ豊沃ナラ使メラ以テ自餘穀類ノ作物ニハ肥料ヲ要セス只タ一回輕易ニ鋤犁スルヲ以テ足レリトス但シ畦疇ニ播種スルニハ機関ヲ以テ從事スルナリ、
 談砂糖ノ製造ノ未タ佛國へ傳播セザル以前ハ此國ニ於テ傭役仕事ノ閑ナル試ヲ以テ鄙村ヨリ市井へ職人ノ移住スル陸續トシテ漸ヘガリシナリ是レニ由リテ政府其所以ヲ按察シ猶又タ此移住ニ附崇スルノ奇策ヲ設立スルモ至レリ、然レモ今ヤ談砂糖産出ノ地方(即チ佛國ニ)ニ於テ石如ク懸念ノ移住ヲ企テツルトハ得テ見ル無キ一至レリ且ツ此地ニ於テハ談製造ノ為

夏冬共ニ傭工仕事アリテ給金ヲ得ルコト多クシバ職人輩自然裕トナリ隨テ犯罪スル者モ殆ビ絶ツニ至レリ、
一体農業ニ従来農夫ノ職業トノミ見做レテ僅微ナル天稟ノ智ニ委レ一ツノ教育ヲ要スルトナカリシ然レモ今ヤ夫ニ是レニ異ナリ夫レ農夫ヲシテ成功多クシ使メント欲セバ善良ノ教育ヲ受ケレメスンバケル可カラザルナリ、
詠砂糖製造法ノ傳播シテ其製造事業ト農業ト相ヒ関渉スル親密ナルヲ以テ殊ニ培養法ヲ改良スルニ至レリ即チ從來ヨリモ猶ホ一層天稟ノ智ヲ琢磨シ學理上ノ術ヲ農事ニ施用スルニ至レリ而シテ天稟ノ智并ニ教育法ノ擴充スルヲ以テ該全國ノ幸福トナレリ猶又資本之レガ補助トナル居多ナリシヲ以テ農業急ニ改良セリ然リ而シテ傭工者ノ身分モ猶ホ隨テ大ニ改良セリ、
此國當今ノ帝「ロイス」ナボレオン曾テ一千八百四十二年ハム名地

ニ於テ獄舎ニ繫カレシキニア砂糖ノ事件ニ付タル詳論ユカルト云フ一書ヲ著シ甜紅蘿蔔糖ノ製造法ヲ論述セリ是レガ為ニ詠ニ於テ爾職人輩ノ仕事ヲ増シ周年中ノ閑暇ナル月ニ於テモ猶ホ傭役ノ仕事アリテ空手徒食ノ憾ヲ興スナカラシメタリ且ツ其書タル製造學及チ現地化學并ニ器械學ヲ以テ農業科ノ補佐トシテ農業科ニ於テ大ニ善良ナル方法ヲ擴充セリ且ツ之レガ為ニ大ニ傭工ノ數ヲ増加セリ此ヲ以テ其書タル真ニ民ノ業ヲ整へ民ノ心ヲ安シレ改権ヲ維持スルノ原理ヲ興起スト謂フベシ蓋シ人民ノ繁盛日見スルニ國家隆治ノ基本トシテ又タ右ノ記者砂糖製造者ノ口ヲ籍シ口ク其レ須ク余レヲ敬ス

べレ。余ハ。士。質ヲ。改良スル。モノナリ。余ハ。余レヲ。措テ。ハ。何人ニテ
モ。培養シ。能ハ。ザル。土地ヲ。シテ。豊饒ナラ。使ルナリ。余ハ。職人ホ
ニ。備職ヲ。付与スルナリ。若シ。恒職ナケレバ。此輩ハ。懶惰ノ。遊民
ルラ。免カレ。ザルナリ。

當今。國家ノ。利益ニ。於ケル。一大問題ヲ。明解スルナリ。余ハ。産業ヲ
整頓シ。隨テ。之レヲ。高尚ノ。域ニ。進マシムルナリ。